

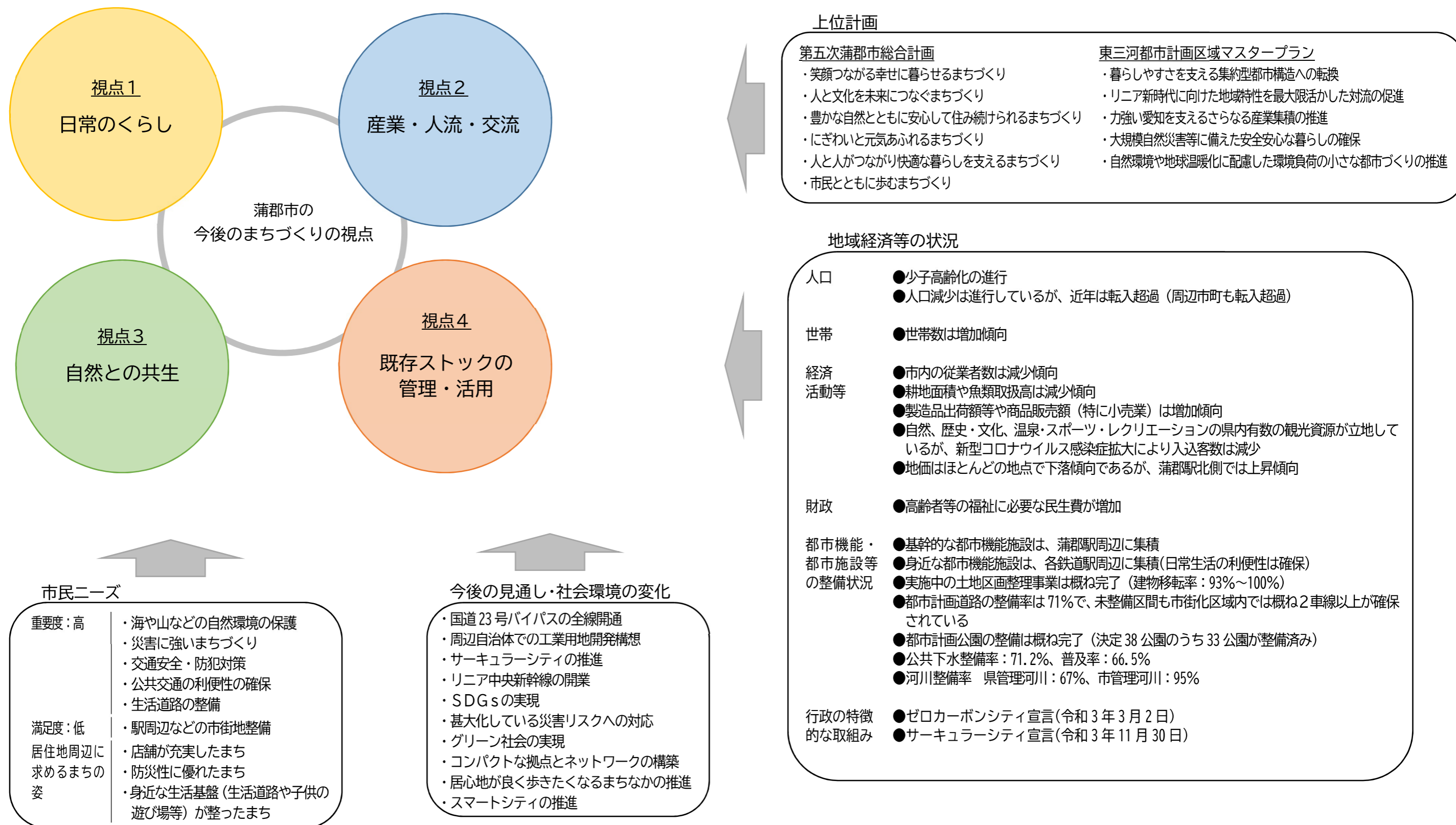
# 蒲郡市の強み・弱みを踏まえた課題の整理について

## 課題抽出の考え方

上位計画である第五次蒲郡市総合計画や東三河都市計画区域マスタープラン、市民ニーズ等を踏まえ、人口減少・少子高齢化が進行する中で、海と山が近い特徴的な立地条件を活かし持続可能な都市を形成するためには、自然との共生を図り、自然を感じながら豊かな日常の暮らしを送れるような、より良い生活環境を創っていくことが必要です。

また、地域経済を活性化させるとともに、財政状況が厳しくなる中で、これまでに整備してきた道路等の施設(既存ストック)を適正に管理し、効果的に活用していくことも必要です。

これらのことを踏まえ、4つの視点を設定し、各視点からまちづくりの課題を抽出します。



## 課題抽出

4つの視点別に、蒲郡市の強み・弱みを整理し、まちづくりの基本的な課題を抽出します。

都市づくりの視点	都市の現状 (○：強み・△：弱み)	まちづくりの基本的な課題 (踏まえるべき事項)
<b>視点1</b> 日常の 暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>○比較的コンパクトで身近な場所に都市機能が立地する市街地が形成</li> <li>○実施中の土地区画整理事業は概ね完了</li> <li>○市街地内の幹線街路密度が高い</li> <li>△駅周辺の細かな低未利用地や古い建物</li> <li>△戸建て空き家の増加</li> <li>△鉄道・路線バス利用者の減少</li> <li>△細街路が残り、公園・緑地が少ない地域</li> <li>△世帯数は転入超過だが、世帯当たり人員は転入より転出が多い</li> </ul>	<p><b>利便性の高い都市構造の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活利便性の高さを活かして、まちづくり推進の担い手となる若い世代の転入を促進し、家族構成やライフステージ、働き方等が変化しても将来にわたり定住してもらえるまちづくりが必要です。</li> <li>・低未利用地が点在する駅周辺など、これまでに培われてきた産業や地域のコミュニティ等に配慮した計画的な土地利用の誘導が必要です。</li> </ul> <p><b>公共交通の利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の骨格となる鉄道をはじめとした公共交通の利便性向上が必要です。</li> </ul>
<b>視点2</b> 産業・ 人流・ 交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内有数の多様な観光資源</li> <li>○特徴的な産業立地</li> <li>○埠頭を有する工業団地</li> <li>○国道23号バイパス周辺での工業立地</li> <li>△製造品出荷額等や就業人口が少ない</li> <li>△国道23号バイパス蒲郡ICでの渋滞</li> <li>△蒲郡駅周辺への大型車の流入</li> </ul>	<p><b>観光資源・集客資源の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な交流、商・サービス業、観光業等の中心地として、蒲郡駅周辺の魅力の向上が必要です。</li> </ul> <p><b>今後の見通し等を踏まえた産業振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域道路網の形成や社会情勢の変化による人やモノの流れの変化を見据えた産業振興や、多様な働き方を受容するまちづくりが必要です。</li> </ul> <p><b>自動車交通の適正処理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物流・業務交通の効率化や、市街地での快適な生活空間の確保に向けて自動車交通を適正に処理できる土地利用や交通体系が必要です。</li> </ul>
<b>視点3</b> 自然との 共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市街地に近接する海・山の豊かな自然</li> <li>○自然環境に恵まれた眺望景観</li> <li>○自然由来の貴重な文化財</li> <li>△市街地における災害の可能性 (洪水、高潮、津波、土砂など)</li> </ul>	<p><b>本市特有の豊かな自然・歴史文化の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに守り・育まれてきた海や山などの豊かな自然や文化財等は、本市特有の資源として保全・活用することが必要です。</li> </ul> <p><b>災害リスクに対する安全確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に甚大化・頻発化する自然災害に対し、まちづくりとの調和を図りながら災害リスクに対する安全の確保が必要です。</li> </ul>
<b>視点4</b> 既存 ストックの 管理・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都市機能施設が駅周辺に集積</li> <li>△供用開始から長期間経過の都市施設等</li> <li>△民生費の増加、土木費の減少</li> </ul>	<p><b>駅周辺を拠点とした都市構造を見据えた既存ストックの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに形成された比較的コンパクトな都市構造やその中で整備された既存ストックを活かしたまちづくりが必要です。</li> </ul> <p><b>都市施設の老朽化への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備後長期間経過した施設については、社会的潮流や市民ニーズ等を踏まえた、活用・再編・長寿命化等の検討が必要です。</li> </ul>